

25年度 卒業式

3月19日に平成25年度第66回卒業証書授与式が行われました。
男子84名、女子59名の生徒が一中を巣立っていきました。

<校長式辞より> (一部抜粋)

朝礼などの場で立川一中生に実現してもらいたい「3つの顔」についてよくお話をしてきました。

「笑顔」「真剣な顔」そして「誇らしい顔」の3つです。

この一年間 皆さんは「笑顔」で放課後の地域清掃などボランティア活動に積極的に参加してくれました。

授業中はどのクラスでも授業に「真剣な顔」で取り組む姿が見られました。体育会や合唱コンクールなどの学校行事では「誇らしい顔」で常に先頭に立ち 下級生をリードしてくれました。さらに 学力の向上に関しても 著しいものがあり 3月の中旬には 全員の進路先が決定するという素晴らしい結果に結びつきました。このような 最上級生としての自覚ある皆さん一人一人の行動が 今日立川一中の姿を実現したと確信しています。

さて 卒業という人生の節目 新しい出発の時にあたり 卒業生の皆さんに はなむけの言葉として 二つお話しをしたいと思います。

一つ目は「誠実な生き方」についてです。

皆さんは「誠実」という言葉を聞いて どのようなことを思い浮かべますか。誠実とは「真心を尽くす 嘘をつかない 人を裏切らない」ということです。『坊ちゃん』で有名な夏目漱石はその小説の中で「自分に誠実でないものは 決して 他人に誠実でありえない」と書いています。現在のこの価値観の多様化した社会の中で 人々は社会の影響を受けています。その中には残念ではありますが 醜いものや 汚いものなども数多く見られます。社会がどうであれ 一人の人間として常に 自分自身に誠実な生き方をしてほしいと思います。自分に誠実な生き方をすると 時には「正直者が馬鹿を見る」ということもあるかもしれませんが、しかし 裏切られることはあっても 裏切ることをしていない生き方であれば 必ず 報われると思います。ぜひ 生き方の原点として「誠実」という言葉を 大切にして欲しいと思います。

二つ目は「謙虚な心」についてです。

皆さんの中には 自分力だけで ここまで成長してきたと 考えている人もいるかも知れません。しかし 決してそうではありません。保護者の方々や先生方などのご指導やご助言があって 今の皆さんがいるのです。その謙虚な心・感謝する心を忘れてはいけません。まず 周りの人の話に 耳を傾け 受け止め そして 成長のための努力を続けて欲しいと思います。どうか これからの人生を 謙虚な心で 常に努力を続けてください。

今 お話した「誠実な生き方」・「謙虚な心」をもち続け 自信をもって たくましく それぞれの道を歩んでいってください。

平成26年3月19日

立川市立立川第一中学校長 國島健二



卒業証書授与式



卒業生入場



卒業証書授与



校長式辞



校歌斉唱